

ISO19011 マネジメントシステム監査のための指針 概要

目次(1／2)

- 序文
- 1. 適用範囲
- 2. 引用規格
- 3. 用語及び定義
- 4. 監査の原則
- 5. 監査プログラムのマネジメント
 - 5.1 一般
 - 5.2 監査プログラムの目的の確立
 - 5.3 監査プログラムのリスク及び機会の決定及び評価
 - 5.4 監査プログラムの確立
 - 5.5 監査プログラムの実施
 - 5.6 監査プログラムの監視
 - 5.7 監査プログラムのレビュー及び改善
- 6. 監査の実施
 - 6.1 一般
 - 6.2 監査の開始
 - 6.3 監査活動の準備
 - 6.4 監査活動の実施
 - 6.5 監査報告書の作成及び配布
 - 6.6 監査の完了
 - 6.7 監査のフォローアップの実施

目次(2／2)

- 7. 監査員の力量及び評価
 - 7.1 一般
 - 7.2 監査員の力量の決定
 - 7.3 監査員の評価基準の確立
 - 7.4 監査員の適切な評価方法の選択
 - 7.5 監査員の評価の実施
 - 7.6 監査員の力量の維持及び向上
- 附属書A (参考) 監査を計画及び実施する監査員に対する追加の手引き
- 解説

7. 監査員の力量及び評価(1/3)

◆7.2 監査員の力量の決定

- 7.2.1 一般
- 監査に求められる必要な力量を決めるときは、次の事項に関係する、監査員の知識及び技能を考慮することが望ましい。
- a) 被監査者の規模、性質、複雑さ、製品、サービス及びプロセス
- b) 監査の方法
- c) 監査の対象となるマネジメントシステムの分野
- d) 監査の対象となるマネジメントシステムの複雑さ及びプロセス
- e) マネジメントシステムで対処するリスク及び機会の、タイプ及びレベル
- f) 監査プログラムの目的及び監査プログラムの及ぶ領域
- g) 監査目的の達成における不確かさ
- h) 該当する場合、その他の要求事項。例えば、監査依頼者又はその他の関連する利害関係者によって課されるもの。

7. 監査員の力量及び評価(2/3)

- 7.2.2 個人の行動
- a) 倫理的である。
- b) 心が広い。
- c) 外交的である。
- d) 観察力がある。
- e) 知覚が鋭い。
- f) 適応性がある。
- g) 粘り強い。
- h) 決断力がある。
- i) 自立的である。
- j) 不屈の精神をもって活動できる。
- k) 改善に対して前向きである。
- l) 文化に対して敏感である。
- m) 協力的である。

7. 監査員の力量及び評価(3/3)

- 7.2.3 知識及び技能
- 7.2.3.1 一般
 - a) 実施が予定されている監査の、意図した結果を達成するのに必要な知識及び技能
 - b) 監査に共通に求められる力量、並びに分野及び業種に固有の知識及び技能のレベル
- 7.2.3.2 マネジメントシステム監査員の共通的な知識及び技能
 - a) 監査の原則、プロセス及び方法
 - b) マネジメントシステム規格及びその他の基準文書
 - c) 組織及び組織の状況
 - d) 適用される法令・規制要求事項及びその他の要求事項
- 7.2.3.3 分野及び業種に固有の監査員の力量
 - a) マネジメントシステム要求事項及び原則、並びにそれらの適用
 - b) マネジメントシステム規格に関係した、分野及び業種の基本
 - c) 分野及び業種に固有の方法、技法、プロセス、及び慣行の適用
 - d) 分野及び業種に関連した原則、方法及び技法